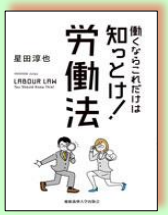
2024/1/10更新

《2024年1月 テーマ別選書》「2024年問題」　働き方改革関連法の制定に伴い、大企業では2019年4月、中小企業では2020年4月から、長時間労働の上限規制が始まり、今年４月からは、トラックドライバーの時間外労働の規制が強化され、これまでどおり荷物が届かなくなるのではないかとも指摘されています。また、建築業も高齢化や労働人口の減少に伴う人材不足で長時間労働が常態化している課題を抱えています。「労働」に関わる諸問題を、メカニズムの正しい理解の上に立って考察していくための１３点を選書しました。

準新刊



NDC：366.14

件名：
労働法
労働法ー日本

働くならこれだけは知っとけ！労働法

ISBN:9784766429275
初版年月日：2023/11/20
判型・頁数：四六判／並製280頁
電子書籍化：一部機関2月予定
本体価格：1,800円
編著者　八星田淳也
（厚生労働省大臣官房厚生科学課総括調整官）［著］
読者対象：
就職活動を視野に入れた大学生やその親
20代の会社員

ここがポイント！
・働いていく以上、絶対に頭に入れておきたい労働法の知識をやさしく解説。
・自身や周りの労働問題の不安や疑問を解消し、安心して働くための1冊。

内容紹介　気楽に、面白く読める！
労働の場面で起きるたいていの問題に対処可能になる！就職活動中の方、一般の会社員の方、そして経営者の方も含めて、最低限知っておくべき労働法の内容を実用的にわかりやすく解説！
以下、（本書「はじめに」から）「本書は一般の労働者や経営者が最低限知っておくべき労働法の内容について解説したものです。本書の内容を理解すれば現実の労働の場面で起きるたいていの問題に対処可能になるような実用的なものを目指しました。何よりも『気楽に、面白く読める』ものを目指しましたので、具体例を引いたなるべくわかりやすい解説を心がけましたし、関係するような余談やコラムも折に触れてつけるようにしました。楽しんで読んでいただければ嬉しいです。」

NDC：334.31

件名：日本ー人口
労働問題ー日本
移民・植民
外国人労働者
人工知能
移民・植民ー日本

移民とＡＩは日本を変えるか

ISBN:9784766426113
初版年月日：2019/7/20
判型・頁数：四六判/仮フランス装224頁
電子書籍化：　　○
本体価格：2,000円
編著者
翁邦雄（元日本銀行金融研究所長、法政大学大学院政策創造研究科客員教授）［著］

ここがポイント！
・移民とAIは日本社会の救世主となるのか？　破壊者となるのか？
・人口ペシミズムへ3つの異論を提示！

内容紹介　　救世主か、破壊者か？
21世紀に入り、人口減少に転じた日本。早くから日本経済の長期低迷の要因の一つとして人口構造の変化に着目すべき、と唱えていた著者が、現代日本の喫緊の課題として昨今俄然クローズアップされている人口減少下の日本社会の変容を、移民とＡＩ（人工知能）に焦点を当てて丁寧に解いていく注目作！

NDC：336.4

件名：人事管理
キャリアデザイン
労使関係ー日本

日本のキャリア形成と労使関係
調査の労働経済学

ISBN:9784766427905
初版年月日：2021/12/25
判型・頁数：A5判／上製400頁
電子書籍化：　　○
本体価格：6,000円
編著者
梅崎修（法政大学キャリアデザイン学部教授）［著］
読者対象
（労働経済学を専攻する）研究者・大学院生、企業の人事部等の能力開発担当者

ここがポイント！
・現代日本社会で本当に“疲弊”しているのは誰なのか？
・働き方の多様化に社会保険制度が付いていけていない現状を検証。
・確かなエビデンスをもとに、日本社会の実態を明らかにする！

内容紹介　2022年度日本労務学会賞 学術賞、「労働関係図書優秀賞」を受賞しました。
◆日本的雇用システムの原理を聞き取る
◆働き方の多様化に伴い、労使の関係性についてもさらに進んだ分析が必要とされている。
今世紀に入って大きく変貌したわが国の雇用システムについて、深い聞き取りと質問紙調査によって新たな労使関係のルールと制度を検証し、その上で既存の理論体系の更新、調査方法の改良、分析範囲の拡張を目指す画期的研究。

NDC：364.3

件名：社会保険
雇用
労働問題 ― 日本
社会保障 ― 日本
労働市場 ― 日本

現代経済解説シリーズ
日本のセーフティーネット格差
労働市場の変容と社会保険

ISBN:9784766426496
判型・頁数：四六判/上製352頁
本体価格：2,700円
編著者
酒井正（国立社会保障・人口問題研究所研究員、同室長、全米経済研究所客員研究員、法政大学経済学部教授［著］

初版年月日：2020/2/15
電子書籍化：　　○

読者対象
一般（社会保険または労働市場のトピックに興味のある層）

ここがポイント！
・現代日本社会で本当に“疲弊”しているのは誰なのか？
・働き方の多様化に社会保険制度が付いていけていない現状を検証。
・確かなエビデンスをもとに、日本社会の実態を明らかにする！

内容紹介　第42回サントリー学芸賞（政治・経済部門）を受賞しました！
第63回（2020年度）日経・経済図書文化賞を受賞しました。
第43回　（令和2年度）労働関係図書優秀賞を受賞しました。
誰が「皆保険」から漏れ落ちているのか
働き方が多様化する中で、正規雇用を前提としていた社会保険に綻びが生じている。
「雇用が不安定な者ほどセーフティーネットも脆弱」というパラドキシカルな現状にどう対応すべきか。救済策は社会保険の適用拡大しかないのか。
今後の改革のための指針を、しっかりした「エビデンス」をもとに模索する力作！

NDC：366.021

件名：労働問題―日本
新型コロナウイルス感染症
労働市場ー日本
雇用ー日本

検証・コロナ期日本の働き方
意識・行動変化と雇用政策の課題

ISBN:9784766428858
判型・頁数：A5判／上製368頁
本体価格：4,800円
編著者
樋口美雄（労働政策研究・研修機構理事長、慶應義塾大学名誉教授）、労働政策研究・研修機構［編］

初版年月日：2023/3/29
電子書籍化：　　○

読者対象
労働経済学を専攻する研究者・大学院生
労働・社会保障系の政策担当者および関連産業関係者

ここがポイント！
・「コロナ」は人々の働き方や生活意識、企業経営、労働市場に何をもたらしたのか？
・個人と企業の連続したパネル調査から、災禍前後の変化を読み解く。

内容紹介　短期間で激変した個人・企業のデジタル化・多様化の軌跡を追う！
コロナウイルス蔓延から3年。この間、人々の働き方やウェルビーイング（幸福度）に対する意識、企業の経営マインド、新技術の導入など、経済社会に広汎な影響を及ぼした。何が変わり、何が変わらなかったのか。専門家がさまざまな角度から変化の軌跡と雇用・労働政策の課題を明示した、わが国コロナ期労働市場の総合的分析。

NDC：366.021

件名：労働問題ー日本
新型コロナウイルス感染症

仕事から見た「2020年」
結局、働き方は変わらなかったのか？

ISBN:9784766428063
判型・頁数：四六判／仮フランス装280頁
本体価格：1,800円
編著者
玄田有史（東京大学社会科学研究所教授）・萩原牧子（リクルートワークス研究所調査設計･解析センター長）［編］

初版年月日：2022/3/18
電子書籍化：　　○

読者対象
一般（日本人の働き方や労働問題に関心を持つ読者）

ここがポイント！
・コロナショックによる働き方の変化は、社会と働き手にどんな影響をもたらしたのか。
・「2020年に起こったこと」を正しく理解するための画期的な一書。

内容紹介
テレワーク、おうち時間、仕事満足度など、地球規模で席巻したコロナ・パンデミックは人々の暮らしと働き方に大きな影響を与えた。この変化は一時的なものか、それとも旧弊を払拭する転機となったのか。リクルートワークス研究所が実施した全国就業実態パネル調査と臨時追跡調査のデータを用いて同一個人の働き方の変容などを多角的に分析し、わが国の労働市場にはどんな構造変化が起きたのかを検証する貴重な「歴史証言」書。

NDC：366.021

コロナ禍における個人と企業の変容
働き方・生活・格差と支援策

ISBN:9784766427806
初版年月日：2021/11/25
判型・頁数：A5判／上製384頁
電子書籍化：　　○
本体価格：4,500円

編著者
樋口美雄（労働政策研究・研修機構理事長）／労働政策研究・研修機構（JILPT）［編］

読者対象
労働経済学を専攻する研究者・大学院生
労働・社会保障系の政策担当者および関連産業関係者

件名：労働問題―日本
新型コロナウイルス感染症
雇用―日本

ここがポイント！
・コロナ禍は、日本人の生活や意識にどう影響しているのか？
・当代一流の研究者陣が、膨大な個人・企業パネルデータを分析し、今後の政策課題を検討する。

内容紹介：ポストコロナを見据えた個人・企業パネル調査による多様化分析
百年に一度の災禍が世界を襲った2020年。この激変は誰の働き方を変え、生活や意識・所得格差にどんな変化をもたらしたのか？
テレワークの影響や主観的ウェル・ビーイングの変化、収入が激減した企業・フリーランス・世帯への支援策など、多角的な観点からわが国の雇用・労働環境を俯瞰分析した経済学・社会学研究者による総合研究！

NDC：366.021

格差社会と労働市場
貧困の固定化をどう回避するか

ISBN:9784766425079
初版年月日：2018/3/24
判型・頁数：A5判/上製244頁
電子書籍化：　○
本体価格：3,600円

編著者　樋口美雄（慶應義塾大学商学部教授）・石井加代子（慶應義塾大学経済学部特任講師）・佐藤一磨（拓殖大学政経学部准教授）［著］

読者対象
（労働経済を専攻する）研究者・学生

件名：
労働市場　ー　日本
所得分配
貧困　ー　日本

ここがポイント！
・所得、資産はもとより就業機会、教育、健康に至るまで拡がったわが国の格差の主因はどこにあるかを新たなパネルデータを使って解明。
・不平等のさらなる拡大と固定化をストップさせるための方策を考察する。

内容紹介　日本の格差拡大現象をダイナミックに分析！
「一億総中流」時代が去り、日本でも所得、資産はもとより就業機会、教育から時間貧困、健康に至るまで、格差が拡がっている。
新たなパネルデータを使ってこの主因を解明し、不平等の拡大と固定化をストップさせるための方策を「雇用モデルの変容」「最低賃金や能力開発支援等の積極的雇用政策」「教育の機会均等」「税や社会保険・社会保障給付」などの労働経済学の視点から分析する本格的研究。

NDC：366.2

The Work of the Future
AI 時代の「よい仕事」を創る

ISBN:9784766429138
初版年月日：2023/9/5
判型・頁数：四六判／上製248頁
電子書籍化：　　○
本体価格：2,600円

編著者　デビッド・オーター（マサチューセッツ工科大学教授）、デビッド・ミンデル（マサチューセッツ工科大学教授）、エリザベス・レイノルズ（MIT Industrial Performance Center 局長）［著］／月谷真紀（翻訳家）［訳］

読者対象
AIをはじめとする技術革新が労働に与える動向に関心のある読者

件名：労働市場
雇用
技術革新と労働問題
人工知能

ここがポイント！
・「テクノロジーと仕事」をテーマにしたMIT の大規模研究プロジェクトから、これからの仕事の在り方がみえてくる。
・すべての働く人のための未来予想図。

内容紹介　MITタスクフォースの大規模調査が教える「未来の働き方」
テクノロジーの進歩と労働の現状を踏まえて近未来を予測する
マサチューセッツ工科大学（MIT）の研究者チームによる「未来の仕事」プロジェクトが、テクノロジーと労働の行く末を精査する。AIなどの技術進歩の影響と労働者の環境の問題や改革、イノベーションのための政策を提案する。

NDC：366.21

多様化する日本人の働き方
――非正規・女性・高齢者の活躍の場を探る

ISBN:9784766424942
初版年月日：2018/1/25
判型・頁数：A5判/上製280頁
電子書籍化：　　○
本体価格：4,200円
編著者
阿部正浩（中央大学経済学部教授）・山本勲（慶應義塾大学商学部教授）［編］
読者対象
（労働経済を専攻する）研究者・学生、一般（労働問題に興味のある層）

件名：労働市場ー日本
非正規雇用労働者ー日本
女性労働者ー雇用　日本
高齢者ー雇用　日本

・“もう一つ”の働き方改革に注目！
・高齢者、非正規雇用者、女性の働き方を効率化すれば、少子高齢化した労働市場にも対応できる！
・ダイバーシティ経営を推進するシステム構築を提言！

内容紹介　もう一つの「働き方改革」に注目せよ！

長時間労働是正や賃上げなど、正社員の働き方の再検討が進んでいる。
だが、非正規雇用者、女性、高齢者が働く場を効率化することで、就業率をさらに高め、少子高齢化に十分対応可能な労働環境を整備できる。
わが国の将来に向けて、その方策を考察・提言する。

NDC：366.29

現代経済解説シリーズ
「副業」の研究
多様性がもたらす影響と可能性

ISBN:9784766427332
初版年月日：2021/3/30
判型・頁数：四六判/上製324頁
電子書籍化：　　○
本体価格：2,700円
編著者　川上淳之（東洋大学経済学部准教授）［著］
読者対象　副業に興味のあるビジネスパーソン
企業の人事担当者

件名：内職・副業
副業

・働き方のマルチ（複業）化と、コロナ禍に端を発した在宅時間の増加などで、いま再び注目を集める副業。
・その全体像を、労働経済学のアプローチを用いて考察した画期的な一冊！

内容紹介　2021年度労働関係図書優秀賞を受賞しました。
もう一つ仕事を持つ意味を探求する
単なる「サイドビジネス」的位置づけではなく、ワーキングプアの副業という課題、本業へのスキルアップ効果、非金銭的動機による副業の性格、幸福度や健康との関係まで、経済学的視点から多面的にアプローチした「新しい働き方」理解のための本格的な決定版！

売行良好

NDC：366.38

なぜ男女の賃金に格差があるのか
女性の生き方の経済学

ISBN:9784766428476
初版年月日：2023/4/5
判型・頁数：四六判／並製400頁
電子書籍化：　　○
本体価格：3,400円
編著者　　クラウディア・ゴールディン（ハーバード大学経済学部教授）［著］
鹿田昌美（翻訳家）［訳］
読者対象
女性の働き方やジェンダーギャップといった問題に関心のある一般読者

件名：女性労働
女性問題
男女賃金格差ーアメリカ合衆国

・「男女平等」が進んでいるはずのアメリカでも、依然として賃金の格差が存在する。
・その原因はどこにあるのか。大卒以上の男女の賃金データを分析し、明らかにする。

内容紹介　2023年ノーベル経済学賞を著者のクラウディア・ゴールディン氏が受賞しました！
「男女平等」の先進国アメリカでも、男女の間に残る格差。これは決して人ごとではない　女性たちはどのように「家族」と「仕事」を選択してきたのか。
ウーマンリブ、「静かな革命」、リリー・レッドベター公平賃金法など、20世紀以降を振り返りながら、各職業のデータを経済分析し、女性の賃金の上昇を阻む原因を抉り出す。アメリカのみならず世界の先進国の男女の「働き方」を見直すきっかけとなる一冊。

NDC：366.7

ワーク・ファミリー・バランス
これからの家族と共働き社会を考える

ISBN:9784766427790
初版年月日：2021/10/20
判型・頁数：四六判／並製288頁
電子書籍化：　　○
本体価格：2,500円
編著者　高橋美恵子（大阪大学大学院言語文化研究科教授）［編著］
読者対象
（家族社会学を専攻する）研究者・学生、一般（両立支援に関心のある層）

件名：
ワークライフバランス
家族
家族 -- 日本

・日本が目指すべき「共働き社会」のあり方とは？
・多様な働き方と家族形態に対応するための具体策を提示する。

内容紹介　各国の政策の特徴と成立背景をまとめつつ、３カ国の子育て世代と、各国に家族で駐在した経験のある日本人に対して行ったインタビュー調査に基づき、制度や支援策が生活の中で実際にどのように機能し、どんな課題を抱えているかリアルに描き出す。
３カ国のベネフィットと課題を参考にして、これからの日本が目指すべき社会のあり方や制度について提言を行う画期的な一冊！